婚姻届の書き方

消えるボールペンは使用しないでください。

婚　姻　届

令和　5 年 5 月 1 日届出

滋賀県草津市　長　殿

受理 令和　年　月　日 第　号	発送 令和　年　月　日
送付 令和　年　月　日 第　号	長印

書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附票	住民票	通知

	夫になる人	妻になる人
❶ 氏名（よみかた）	氏 草津（くさつ） 名 幸雄（ゆきお）	氏 滋賀（しが） 名 祝子（しゅくこ）
生年月日	平成 2 年 10月 10日	平成 3 年 7月 7日
❷ 住所（住民登録をしているところ）	滋賀県草津市草津 三丁目13番30号	滋賀県栗東市安養寺 一丁目13番33号
世帯主の氏名	草津 幸雄	滋賀 万年
❸ 本籍（外国人のときは国籍だけを書いてください）	滋賀県大津市御陵町 3 番地	滋賀県草津市草津 一丁目2 番地
筆頭者の氏名	草津 亀一	滋賀 万年
❹ 父母及び養父母の氏名 父母との続き柄（右記の養父母以外にも養父母がいる場合にはその他の欄に書いてください）	父 青花 寿和 続き柄 長男	父 滋賀 万年 続き柄 二女
	母 青花 喜代美	母 滋賀 鶴美
	養父 草津 亀一 続き柄 養子	養父 続き柄 養女
	養母 草津 日出子	養母
❺ 婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	☑夫の氏 □妻の氏	新本籍（左の☑の氏の人がすでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください） 滋賀県草津市大路二丁目4 番地
❻ 同居を始めたとき	令和 5 年 4 月（結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください）	
❼ 初婚・再婚の別	☑初婚 再婚（□死別 □離別 年 月 日）	☑初婚 再婚（□死別 □離別 年 月 日）
❽ 同居を始める前の夫妻のそれぞれの世帯のおもな仕事と夫妻の職業	夫☑ 妻☑ 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯（日々または1年未満の契約の雇用者は5）	
	夫 妻 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯	
	夫 妻 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯	
	夫 妻 3. 企業・個人商店等（官公庁は除く）の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯（日々または1年未満の契約の雇用者は5）	
	夫 妻 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯	
	夫 妻 6. 仕事をしている者のいない世帯	
	（国勢調査の年… 年…の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください）	
	夫の職業	妻の職業
❾ その他		
❿ 届出人（押印は任意）	夫 草津 幸雄 印	妻 滋賀 祝子 印
事件簿番号		

令和 午前 午後	年 月 日 時 分受領
夫	□免 □旅 □住 □マ □その他 □無 ( )
不受理	□有 □無
通知	□要 □不要
妻	□免 □旅 □住 □マ □その他 □無 ( )
不受理	□有 □無
通知	□要 □不要
使者	□免 □旅 □住 □マ □その他 □無 ( )
送付	令和 年 月 日

確認	通知

□新本籍地確認済
□新戸籍の表示は街区符号

住所を定めた年月日	
夫	年 月 日
妻	年 月 日

連絡先	
電話	夫 077(563)1234
	妻 077(553)1234

⑪

⑫

証人		
署名（押印は任意）	草津 亀一 印	滋賀 万年 印
生年月日	昭和40年 1月 1日	昭和37年 1月 1日
住所	滋賀県草津市下物町 1091番地	滋賀県栗東市安養寺 一丁目13番33号
本籍	滋賀県大津市御陵町 3 番地	滋賀県草津市草津 一丁目2 番地

記入説明

❶ 氏名・生年月日	婚姻届出前の氏名・生年月日を記入
❷ 住所・世帯主の氏名	住民登録をしているところの住所と世帯主の氏名を記入、婚姻届と住所異動届（転入・転居など）を同時に提出する場合は、新しい住所と世帯主の氏名を記入 （婚姻届を休日に出されるときは、住所異動の受付はできませんので、後日別途お手続きください。）
❸ 本籍・筆頭者の氏名	現在の本籍地・筆頭者の氏名（戸籍の最初に記載されている方）を記入
❹ 父母及び養父母の氏名・父母との続き柄	届出日現在の実父母及び養父母の氏名と実父母との続き柄を記入
❺ 婚姻後の夫婦の氏・新本籍	婚姻後の夫または妻の氏を選択し、☑チェック（日本人同士の場合のみ、外国人との婚姻の場合チェック不要） 婚姻により戸籍を編製しますので「新本籍」を記入 ※ただし、☑チェックした人が既に戸籍の筆頭者となっている場合は新本籍記入不要 ※アパート、マンション名は入りません。 ※住居表示実施地域「○丁目○番○号」のうち○号は本籍に含みません。
❻ 同居を始めたとき	結婚式を挙げたとき、または同居を始めたときのどちらか早い方を記入 結婚式も同居もまだの場合は記入不要（空欄）
❼ 初婚・再婚の別	該当するところに☑チェックし、死別・離別の場合はその年月日を記入
❽ 世帯の主な仕事	夫・妻の該当するところに☑チェック　※夫妻の職業は国勢調査の年のみ記入
❾ その他	婚姻できるのは、男女ともに成人（18歳以上）の方です。法改正の経過措置により、平成16年4月2日～平成18年4月1日生の女性は、18歳未満であっても、父母（養子の場合は養父母）の同意を得て婚姻することができます。 その場合は同意書を添付するか、その他欄に署名をしてください。 「この婚姻に同意します 住所　○○県○○市○番地　妻の父（養父）　○○　□□　生年月日 住所　同上　妻の母（養母）　○○　□□　生年月日」
❿ 届出人の署名	婚姻届出前の氏名で本人が、署名してください。
⓫ 連絡先	昼間連絡が取れる夫と妻の連絡先の電話番号を記入
⓬ 証人	成人（18歳以上）の方2人の署名（氏名・生年月日・住所・本籍）が必要